

県民の命を守ります

六角川水系 緊急治水対策プロジェクト 22億2,999万円

令和元年佐賀豪雨により、六角川水系では沿川地域に大規模な浸水被害が発生しました。今回の災害を検証し、効果的な治水対策を今後5年間で実施します。今年度は、国と県で六角川や牛津川などで河川を拡げる工事や遊水地などの調査・設計を行います。

消防防災ヘリコプターの運航に向けて 28億5,537万円

災害発生時の迅速な情報収集や人命救助に対応する消防防災ヘリコプターの令和3年3月の運航開始に向け、今年4月に県内の各消防本部から派遣される隊員9名を中心に、防災航空隊を発足します。12月には防災航空センターが完成し、ヘリコプターを配備する予定です。



さがを支える社会資本整備を進めます

幹線道路ネットワーク整備 74億9,638万円

産業や観光の活性化、交通事故の防止や渋滞の緩和だけでなく、災害発生時の避難や救急搬送など「命をつなぐ道」としての役割も持つ、幹線道路ネットワークの整備を引き続き推進します。特に、九州佐賀国際空港や佐賀県医療センター好生館などとの広域的なアクセスを向上させる、有明海岸沿道と佐賀唐津道路、およびその道路が接続するエリア「Tゾーン」の重点的な整備に取り組みます。



Tゾーン

※イメージです

飛躍の鍵となる交流を生み出します

SAGAサンライズパークの整備 146億6,191万円

中核施設となるアリーナの建設に着手します。アリーナは、災害時には避難所として機能する防災拠点としても整備します。



名護屋城跡・陣跡利活用 推進プロジェクト 4,034万円

築城当時、大坂城に次ぐ規模を誇った名護屋城。その城跡と全国から集まった150もの武将の陣屋跡の価値を再発見し、地域の取り組みとも連携しながら、多くの人を呼び込む文化ツーリズムに着手します。

令和2年度当初予算の 主な事業を紹介します

人を基軸に佐賀県の 未来を切り拓く予算2020

県政の基本理念「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくりに」をさらに進めるため、令和2年度当初予算を編成しました。総額は4,855億8,100万円です。前年度に比べ8.2%増となります。今、時代は大きな変動の中にあります。人の痛みにも、佐賀が飛躍するための鍵となる交流の促進や新たな価値を生み出す取り組みに積極的にチャレンジしていきます。



佐賀がもつ素晴らしさを大切に、一人一人が躍動する佐賀県をつくっていきます。

佐賀県知事
よしのり
山口祥義



人の想いに寄り添います

予防接種の 再接種費用を全額補助 105万円

小児がんなどで造血細胞移植を行った20歳未満の方を対象に、予防接種(風しん、日本脳炎など)の再接種費用を全額補助します。



健康増進課 ☎0952(25)7075

難聴の子どもたちへの支援の充実 230万円(拡充分)

補聴器が必要な18歳以下のすべての子どもたちを支援するため、片耳難聴まで対象を拡げ、人工内耳対外機の更新費用についても助成します。

障害福祉課 ☎0952(25)7064

子育てを応援します



多胎家庭へのサポート 1,403万円

多胎家庭(双子や三つ子)を、妊娠期からサポート。授乳やおむつ交換、夜泣きなどが同時かつ多発する育児は、負担感や孤立感を大きくします。経験者との交流や育児相談、家事の援助や外出を支援するヘルパーの派遣などを行います。

こども家庭課 ☎0952(25)7056

子育てし大県
“さが”



さがの未来につなげます

Society5.0時代の 「さがモデル」を創出 3,493万円

新しい移動通信規格である「5G」を使った実証を通じて、先進テクノロジーを農業、交通、災害対応など様々な分野へ活用する「さがモデル」を創出します。



プロジェクトJAXAGA 256万円

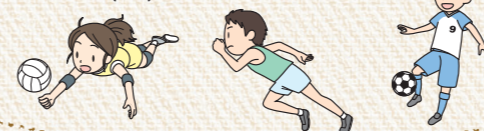
明治維新の志を受け継ぎ、「宇宙」を切り口に佐賀の未来を考えます。JAXA(宇宙航空研究開発機構)と連携し「プロジェクト」JAXAGA(ジャクサガ)を進めます。

未来のアスリートへ 子どもたちの力を引き出します

ジュニアアスリートの発掘 2,722万円

子どもたちが本来持つ才能を埋もれさせないため、本格的にスポーツを始める前段階で、何が向いているかを科学的に測定するスポーツ適性検査を実施します。対象は希望する小・中学生。

SAGAスポーツピラミッド推進グループ ☎0952(25)7345



園芸農業・畜産業を応援します

さが園芸生産 888億円推進事業 14億1,229万円



これからの佐賀の農業を牽引する園芸農業の振興に力を入れ、「稼げる農業」を実現します。来年春には、県が独自に開発した柑橘類の新品種が市場デビュー!「いちごさん」に続くトップブランドに育てていきます。

ブリーディングステーションの整備 10億円(令和3年度まで)

「佐賀生まれ、佐賀育ちの佐賀牛」を増やすため、担い手の研修機能も備えたブリーディングステーション(いわば「牛の産婦人科」)を整備します。国内最大規模の生産拠点で、佐賀牛となる肥育素牛の生産拡大を支援します。

